

- 問1 日本の歴史における各時代の文化や社会状況について述べた説明のうち、奈良時代の事柄として最も適切なものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、本格的な稲作が全国に広まった。
 2. 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。
 3. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして承久の乱を起こし、浄土宗などの新しい仏教が広まった。
 4. 幕府が諸大名を統制するために武家諸法度を定め、町人の間では浮世絵などの文化が栄えた。
- 問2 享保の改革と寛政の改革の間に位置する、田沼意次が実権握った時期の政策について、その背景と内容を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 貨幣経済の浸透に対応するため、株仲間の結成を奨励して運上や冥加などの税を徴収した。
 2. 長崎貿易での銀の流出を防ぐため、銅や俵物の輸出を制限して鎖国体制をより厳格にした。
 3. 農村の復興を最優先し、江戸に流入した農民を強制的に帰村させて農業生産力の回復を図った。
 4. 武士の困窮を救うため、札差に対して旗本・御家人の借金を帳消しにする棄捐令を発令した。
- 問3 16世紀後半から17世紀半ばにかけて、ネーデルラント（現在のオランダなど）の人々が、カトリックの信仰を強制する他国の支配から脱するために独立を宣言しました。このとき、オランダが独立を勝ち取った相手国はどこですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
1. フランス
 2. スペイン
 3. イギリス
 4. ポルトガル
- 問4 18世紀後半から19世紀後半にかけての日本の歴史的出来事について、時期の古いものから順に正しく並べたものはどれですか。なお、選択肢に含まれる出来事は「松平定信による寛政の改革」「天保のききに際して起きた大塩平八郎の乱」「水野忠邦による天保の改革」「幕末の社会不安の中で流行した『ええじゃないか』」の4つとします。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 寛政の改革 → 大塩平八郎の乱 → 天保の改革 → ええじゃないか
 2. 寛政の改革 → 天保の改革 → 大塩平八郎の乱 → ええじゃないか
 3. 大塩平八郎の乱 → 寛政の改革 → 天保の改革 → ええじゃないか
 4. 寛政の改革 → 大塩平八郎の乱 → ええじゃないか → 天保の改革
- 問5 1716年の享保の改革開始から、1843年の天保の改革終了までの期間に該当する、当時の文化や学問の動向として最も適切な説明を選んでください。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 紀貫之らが最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』を編纂し、国風文化が発展した。
 2. 黒田清輝がフランスで学んだ印象派の画風を日本に伝え、西洋画を普及させた。
 3. 本居宣長が日本の古典を研究して『古事記伝』を著し、国学を大成させた。
 4. 出雲の阿国が京都でかぶき踊りを披露し、のちの歌舞伎の原型を作った。
- 問6 江戸時代、日本の将軍の代わり目や世継ぎの誕生といった慶事がある際、朝鮮国王から派遣された使節団を何と呼びますか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 遣唐使
 2. 謝恩使
 3. 朝鮮通信使
 4. 慶賀使
- 問7 江戸幕府は武家諸法度を制定して城の修繕を制限したり、のちに参勤交代を義務付けたりするなどして大名に対して強い制限を設けました。幕府がこのような大名統制を行った背景や理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
1. 朝廷に政治の実権を戻し、幕府の政策を正当化するため
 2. 海外との貿易を急速に拡大させ、幕府の財政を豊かにするため
 3. 全国の町人や農民の負担を減らし、生活基盤を保護するため
 4. 大名の経済力や軍勢力を抑えて幕府の支配体制を長期的に安定させるため
- 問8 1637年に九州で発生した島原・天草一揆が鎮圧された後、現地の社会状況は壊滅的な打撃を受けました。当時のある大名が記した書状には、一揆から5年が経過してもなお現地の疲弊が続いている様子が記されています。この一揆の終結後、島原・天草地方で起こった深刻な社会問題として最も適切なものはどれか答えなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 一揆に参加しなかった農民が特権階級となり、幕府による直接統治が始まった。
 2. 多くの戦死者や処刑者が出たことにより百姓が著しく不足し、耕作地が荒廃した。
 3. 大名同士が領地を奪い合って激突したため、大分県などの周辺地域まで戦火が拡大した。
 4. キリスト教の信仰が広く認められるようになり、ヨーロッパとの貿易がさらに盛んになった。
- 問9 18世紀末のフランスの社会状況を風刺した絵画には、聖職者と貴族が「税や労役」を象徴する重い石を平民に押し付けている様子が描かれています。このような、フランス革命以前の不平等な社会体制を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 封建制度
 2. マニユファクチュア
 3. アンシャン・レژیーム (旧制度)
 4. 名誉革命
- 問10 江戸時代、全国の諸藩が「蔵屋敷」を設置し、年貢米や各地の特産物を運び込んで取引を行った、物流の中心地を何と呼びますか。瀬戸内海の東端に位置し、水上交通の要所であったその都市の通称として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 日本第一の港
 2. 三都の首府
 3. 天下の台所
 4. 将軍の膝元
- 問11 江戸時代、徳川将軍の居城があり、幕政を司る機関が置かれた江戸は、政治と軍事の中心地として機能していました。このような役割を持つ江戸を指して用いられた通称として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 天下の台所
 2. 蔵屋敷の集積地
 3. 八百八橋の都
 4. 将軍のおひざもと
- 問12 徳川吉宗が「米将軍」と呼ばれる背景となった政策のうち、幕府の安定した収入を確保し、財政の基礎を固めるために実施された取り組みとして、その内容と目的が合致している説明はどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 商人たちの組織である株仲間を公式に認め、そこから運上金などの税を徴収することで、商業資本による財政再建を図った。
 2. 江戸に流入した農民を強制的に農村へ帰すことで、米の生産量を維持し、都市部の治安維持を図った。
 3. 長崎での貿易を制限することで金や銀の流出を抑え、国内の通貨流通量を調整することで物価の安定を図った。
 4. 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。
- 問13 江戸時代には五街道などの交通網が整備されました。これらの街道を利用し、手紙や公文書、荷物などを運搬した職を何と呼びますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
1. 馬子
 2. 駕籠掻き
 3. 飛脚
 4. 車夫
- 問14 17世紀後半、イギリスで起こった名誉革命の際に制定された文書はどれか。この文書は、国王は議会の同意なしに法律の効力を停止したり、税を徴収したりできないことを定めている。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 独立宣言
 2. 権利の章典
 3. マグナ・カルタ (大憲章)
 4. 人権宣言

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。	奈良時代は、平城京を中心に律令国家の仕組みが整えられた時期です。この時代には、天皇の命によって各国の地理や産物、伝承などを記録した報告書である「風土記」が編纂されました。他の選択肢について、邪馬台国や稲作は弥生時代、承久の乱や新しい仏教の普及は鎌倉時代、武家諸法度や浮世絵は江戸時代の事柄であり、時代が異なります。
問2	答え 1 貨幣経済の浸透に対応するため、株仲間の結成を奨励して運上や冥加などの税を徴収した。	田沼意次は、それまでの「米」を基盤とした経済から「貨幣」を中心とした経済への変化を積極的に政治に取り入れました。商人の組織である「株仲間」を広く公認し、独占的な営業権を与える見返りとして税（運上・冥加）を課し、幕府の現金収入を増やそうとしたのが特徴です。他の選択肢にある帰村の強制や棄捐令は、その後の寛政の改革や天保の改革で行われた政策です。
問3	答え 2 スペイン	当時のオランダ（ネーデルラント）は、ハブスブルク家のスペインによる支配を受けていました。宗教改革の影響でプロテスタントの信仰が広がっていたオランダに対し、カトリックの守護者を自認するスペインが信仰の強制と重税を課したことが、独立運動の大きな要因となりました。この独立を経て、オランダは17世紀に世界貿易の覇権を握り、日本の江戸幕府とも密接な関係を築くことになります。
問4	答え 1 寛政の改革 → 大塩平八郎の乱 → 天保の改革 → ええじゃないか	寛政の改革は18世紀末（1787年～）に松平定信によって行われました。その後、19世紀に入り1837年に大塩平八郎の乱が起き、その混乱や飢饉への対応として1841年から水野忠邦による天保の改革が始まりました。「ええじゃないか」は幕末の混乱期である1867年頃に民衆の間で流行した現象であり、これらが最も適切な時系列となります。
問5	答え 3 本居宣長が日本の古典を研究して『古事記伝』を著し、国学を大成させた。	18世紀から19世紀半ばにかけての江戸時代中期から後期には、化政文化に代表されるような町人の文化が成熟し、同時に実証的な学問も発展しました。本居宣長はこの時期に活躍し、文献学的手法で『古事記』を読み解くことで、外来思想の影響を受ける前の日本独自の精神（国学）を体系化しました。その他の選択肢は、江戸時代初期、明治時代、平安時代の出来事であるため、この時期の動向としては不適切です。
問6	答え 3 朝鮮通信使	豊臣秀吉による朝鮮侵略によって日朝関係は悪化していましたが、江戸幕府を開いた徳川家康が対馬藩の宗氏を仲介させて国交を回復しました。その後、将軍の代替わりなどを祝うために計12回、朝鮮通信使が来日し、江戸までの道中で日本の儒学者らと文化交流も行われました。
問7	答え 4 大名の経済力や軍事力を抑えて幕府の支配体制を長期的に安定させるため	江戸幕府は、戦国時代のような下克上や大名同士の争いが再び起こらないよう、大名の力を弱める必要がありました。そのため、経済的・軍事的な負担や制限を課すことで大名の権限を削ぎ、幕府による全国支配を安定させました。
問8	答え 2 多くの戦死者や処刑者が出たことにより百姓が著しく不足し、耕作地が荒廃した。	島原・天草一揆は、領主による過酷な年貢の取り立てやキリスト教への弾圧に対して、農民らが武器を持って立ち上がった大規模な反乱です。幕府軍によって鎮圧される過程で、一揆勢のほとんどが殺害または処刑されました。その結果、この地域では農業の担い手である百姓が決定的に不足し、田畑が荒れ果てて社会が維持できないほどの凄惨な状況に陥りました。当時の大名の間で交わされた手紙からも、その深刻な復興の遅れを読み取ることができます。
問9	答え 3 アンシャン・レージュム（旧制度）	フランス革命前のフランスでは、第一身分の聖職者と第二身分の貴族が特権階級として広大な土地を持ち免税の特権を享受していました。一方で、人口の約9割を占める第三身分の平民は、政治への参加権がないまま重い税や労役を負担させられていました。この不平等な社会の仕組みは、フランス語で「古い体制」を意味する言葉で呼ばれ、国民の不満が爆発し革命が起こる大きな背景となりました。
問10	答え 3 天下の台所	江戸時代の大坂は、西日本や北陸など全国各地から物資が集まる経済・物流の拠点でした。特に諸藩が年貢米や特産物を販売するために置いた「蔵屋敷」が立ち並んでいたことから、全国の食糧や物資を供給する場所として「天下の台所」と呼ばれました。
問11	答え 4 将軍のおひざもと	江戸は徳川将軍家が直接統治する城下町であり、幕府の所在地として全国を動かす中心地であったことから「将軍のおひざもと」と呼ばれました。これに対し、全国の物資が集まる経済・流通の中心地であった大坂は「天下の台所」と呼ばれ、それぞれ役割が異なっていました。
問12	答え 4 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。	享保の改革では、幕府の財源である年貢を増やすために耕作地の拡大が不可欠でした。そこで、民間の資金や技術を活用する「町人請負新田」などを認めることで、大規模な新田開発を推進しました。また、年貢率を固定する「定免法」の採用や、米の価格を安定させるための市場調整など、米を中心とした経済体制の強化に努めたことが吉宗の通称の由来となっています。他の選択肢は田沼意次や水野忠邦による政策の内容です。
問13	答え 3 飛脚	江戸幕府が整備した五街道（東海道・中山道など）において、信書や荷物を運ぶ重要な役割を担ったのが飛脚です。幕府の公文書や運ぶ継飛脚、諸藩が利用した大名飛脚、庶民が利用した町飛脚などの種類があり、江戸と地方を結ぶ通信・輸送手段として機能しました。
問14	答え 2 権利の章典	名誉革命の際、新国王ウィリアム3世とメアリ2世が議会の権利を承認した「権利の宣言」を法典化したものが権利の章典です。これによって、国王であっても法に従わなければならないという立憲君主制の基礎が築かれ、近代民主政治の出発点となりました。